



青い目の人形友情交流会

ニュース・レター

NO. 14
1995. 1. 25.

1995年を迎え、新しい希望や計画に歩み始めた17日未明、兵庫県南部地震に襲われ、日をおって被害が大きくなり心が痛みます。会員の皆様の中にも、友人知人のおありの方がいらっしゃるかも知れません。神戸市には「青い目の人形」が3体保存されていました。また人形につらなる人々や学校の消息はいかがなものでしょうか。皆様のご無事と一日も早い復興をお祈り申し上げます。

昨年後半からこれまでの人形情報の主なものは「なら・シルクロード博記念国際交流財団」による「ミス奈良」（アイダホ州ボイジー市：州立歴史博物館保存の答礼人形）の里帰り展示と、日本郷土玩具博物館（広島県福山市）開催の「青い目の人形と平和展」です。13号でお知らせしましたように、これらの行事には私どもの会と会員とで支援し、パネルや諸資料を提供し、奈良展は「青い目の人形友情交流会協力」の名義としました。このイベントの発端から、終始協力された夏目さん、パネル提供や行事参加などにご尽力の林光子さん、福山の展示を観覧された武文子さんのご支援、当会の協力に主催者側の方々から感謝の言葉が寄せられました。

思いがけない情報は、答礼人形についての当初の調査で失われたとされていた「ミス富山」が見付けだされたことで、在米の高岡美智子さんのレポートとともにお知らせいたします。

ミス奈良 帰国展 1994年10月25日～31日

27年ぶりに里帰りした「日米親善大使 ミス奈良帰国展」が奈良そごう特設会場で開催されました。展示品にはミス奈良が所持していたパスポート、筆筒や茶の湯の道具などの調度品、奈良県の銘が入った番傘などがありました。会場には奈良県内に保存されている4体の「青い目の人形」も顔を揃えて展示されました。

ミス奈良については思いがけないことがありました。1988年に行われた「青い目の人形交流展」では、国際文化協会の現地調査により、ネバダ州の歴史博物館保存の人形を「ミス奈良」としていました。この人形はパスポートは所持していませんでした。しかし、今回展示の人形にはパスポートも所持し、小物にも奈良の記名があり、ボイジー市の州立歴史博物館では当初からこの人形を「ミス奈良」として保存していました。

渋沢栄一資料ではネバダの博物館の人形は「ミス和歌山」と記載されておりましたが、「交流展」当時は国際文化協会と現地保存の調査を重んじたわけでした。このような2体のミス奈良の出現となった背景には、1927年当時、答礼人形のアメリカ巡回展示の移動などの際に、58体もの人形の多数の調度品、手紙などの日本からの所持品をに扱い慣れないアメリカの人達には、判別も難しく、取違えがあったことでしょう。

2体の「ミス奈良」の出現については奈良の担当者から相談がありましたが、話し合いの末、アイダホ州の人形はミス奈良のパスポートを所持しており、他の証拠品と合わせこちらの人形も「ミス奈良」と認めてもよいということになりました。

これからもこのようなことが起こりそうな予想もありますが、ふたり「ミス奈良」のなりゆきは「事実は小説より奇なり」と申しませうか。

展示開催中の入場者は15,300人でした。また、「新ミス奈良」作成のために募金を呼び掛けたところ155万円もが寄せられたそうです。

11月2日の「ミス奈良送別パーティ」には夏目さん、林さんも出席されました。アイダホの博物館長ケニス・スワンソン博士との出会いは意義深かったと、夏目さんの感想でした。



■期間 10/25-10/31
■会場 奈良そごう4階 特設会場
■主催 なら・シルクロード博記念国際交流財団
■共催 アイダホ州州立歴史博物館 日本郷土玩具博物館
■協賛 奈良県 自衛隊 神戶市国際交流協会
9日 奈良県立博物館
NHK奈良放送局 文化庁文化庁長官
■協力 西成町立歴史民俗資料館
奈良女子大学
大和地区の歴史民俗資料館
奈良県立伊賀原小学校
青い目の人形友情交流会

情報アサカルト

☆山形の羽黒町立第一小学校で記念冊子「青い目の人形のお話」を作成

鈴木雄司さんたちのご尽力で今までに県下の青い目の人形保存の学校三校に、ギュリック3世からの贈り物の「新友情の人形」が贈られました。1994年に贈られた羽黒第一小学校では3月に人形歓迎会を催し、記念の冊子(A4判10ページ)を作りました。それによるとこの小学校の青い目の人形は、戦時中は無事に保存され、戦後になってから佐々木繁子先生が宿直室の押入にしまい直して、保存されたそうです。戦後アメリカの兵士が視察に来たときは、しまわれていた人形を見て喜んだとか。昭和2年の人形を迎えた時に歓迎の辞を読んだ少女が佐々木先生で、今回の歓迎会にも出席されています。

☆飯山市で「青い目の人形の歌」などをCDに

前号でもご紹介した飯山市のコーラスグループ、ドルチェは故高野辰之博士作詞の童謡を歌って活動しております。高野博士は「人形を迎える歌」や「人形を送る歌」も作詞しておられます。今回製作したCDには23曲が収録されており、上記の2曲も収録されています。

(2,500円 問い合わせは、☎0269-65-4193 鈴木伸一さんへ)

☆福山市の山本全子さんに「新友情の人形」のプレゼント

山本さんは少女時代に青い目の人形を迎えた思い出があり、手作りの人形をギュリックさんに贈ったところ、新人形をプレゼントしたいとお便りを受け、どこかふさわしい学校に受け入れてほしいと模索中です。

新市町公民館主事の平井さんは人形問題に熱心で、山本さんにいろいろと助言し、手作りの人形を送ることも薦めました。このルートでいずれ何体か新人形をギュリックさんが贈ってくださるようです。

福山 1994年(平成6年)6月9日(木曜日) 中 福山

ノアアメリカ生まれのセルロイド...



新しい青い目の人形に思いをはせながら、ギュリック氏からの手紙を読む山本さん

新「青い目の人形」 備後にやってくる

米の祖父の遺志継ぎ

「青い目の人形」を祖父から受け継いだ山本全子さんが、福山市の山本全子さんに「新友情の人形」のプレゼントを贈る。山本さんは少女時代に青い目の人形を迎えた思い出があり、手作りの人形をギュリックさんに贈ったところ、新人形をプレゼントしたいとお便りを受け、どこかふさわしい学校に受け入れてほしいと模索中。新市町公民館主事の平井さんは人形問題に熱心で、山本さんにいろいろと助言し、手作りの人形を送ることも薦めました。このルートでいずれ何体か新人形をギュリックさんが贈ってくださるようです。

山本さん(福)の人形贈呈に返礼

受け入れ校探す

「青い目の人形」を祖父から受け継いだ山本全子さんが、福山市の山本全子さんに「新友情の人形」のプレゼントを贈る。山本さんは少女時代に青い目の人形を迎えた思い出があり、手作りの人形をギュリックさんに贈ったところ、新人形をプレゼントしたいとお便りを受け、どこかふさわしい学校に受け入れてほしいと模索中。新市町公民館主事の平井さんは人形問題に熱心で、山本さんにいろいろと助言し、手作りの人形を送ることも薦めました。このルートでいずれ何体か新人形をギュリックさんが贈ってくださるようです。

☆広島県戸手小学校に友情の人形届く

徳島県の神山町の神領小学校では1991年に、保存されていた青い目の人形アリスをともなってゆかりの地ピッツバーグ市を訪問し、新しい友情人形を交換し交友を結びました。その後同地のケリー小学校から神山町国際交流会に「新友情の人形交換事業」として申し出がありました。同会では受入先を募集していましたが、前出の平井主事の仲立ちで新市町の戸手小学校に人形アディが贈られました。同小学校は1927年に青い目の人形が配布されていますが、その後の行方が不明です。アディは黒人少女で、人種差別の問題をテーマにした本が添えられてケリー小学校から贈られました。新人形にこめられた新たなメッセージと、このような「新人形」受け入れが実りあればと期待します。

新しい米国人形届く 今度は平和教育の教材に

広島・新市町の戸手小

「青い目の人形」の歴史をたどる。1927年に福山で配布された「青い目の人形」は、戦時中は無事に保存され、戦後になってから佐々木繁子先生が宿直室の押入にしまい直して、保存された。戦後アメリカの兵士が視察に来たときは、しまわれていた人形を見て喜んだとか。昭和2年の人形を迎えた時に歓迎の辞を読んだ少女が佐々木先生で、今回の歓迎会にも出席されています。



☆朝日新聞山口県版のお正月元旦の記事に「友情の人形」取り上げられる。

山口県福賀小学校(児童数52人)には青い目の人形パシーちゃんが保存されていました。しかし、残念ながら1989年の「里帰り展」のサンフランシスコで盗難にあい失われました。その後の経過や、ギュリック博士や孫のギュリック3世のことが紹介されています。

友好の絆結ぶお人形



子どもたちの笑顔に囲まれる福賀小学校の青い目の人形。左からパシー二世、メアリー、ベティ。一見おどろきの顔で福賀小学校で、下野校長(左)と話す。福賀小学校校長(右)。

「青い目の人形」の歴史をたどる。1927年に福山で配布された「青い目の人形」は、戦時中は無事に保存され、戦後になってから佐々木繁子先生が宿直室の押入にしまい直して、保存された。戦後アメリカの兵士が視察に来たときは、しまわれていた人形を見て喜んだとか。昭和2年の人形を迎えた時に歓迎の辞を読んだ少女が佐々木先生で、今回の歓迎会にも出席されています。

山口県福賀小学校(児童数52人)には青い目の人形パシーちゃんが保存されていました。しかし、残念ながら1989年の「里帰り展」のサンフランシスコで盗難にあい失われました。その後の経過や、ギュリック博士や孫のギュリック3世のことが紹介されています。

事務局より皆様にお願い

会員の皆様にお許しとご理解をお願い申し上げます。

「ニュース・レター 14号」は年末から原稿の準備がなされ、1月中旬に皆様のお手元に届くように準備してまいりました。そうした最中に兵庫県南部地震が発生しました。「平和と友情の心を子どものころから」のギュリックさんの提案に賛同しての当会として、すぐできるお手伝をと思いました。

皆様から頂いた会費が、この号を発行した後に残金が約9万円ほどになります。この中から5万円を日本赤十字社を通して、被災地に送らせていただきました。

発足当時は会員も少なく、会費の中から「ニュース」を関係者に発送するのも大変でしたが、いつのまにか会員も増え、「ニュース」の発行の活動費としては十分になりました。事務局が勝手に判断して申し訳ございませんでした。

この号では様々な問題提起もなされました。皆様のお声を「ニュース・レター」に寄せていただいて、ご意見を伺えれば幸いです。

ニュース・レター 第14号

発行：青い目の人形友情交流会

代表：武田英子

事務局：新宿区中井2-18-9

齋藤博子方